

# 社会学・教育学ゼミナール

専任講師 西谷 尚徳

## 〈ゼミナールの目的・到達目標〉

本ゼミの目的は、主に法学を活かして社会との関わり合い方を研究していくことです。法律と社会、あるいは法学を学ぶみなさんと社会など、解釈のしかたは一つではないでしょう。法学では、社会のしくみや社会のあり方を考えることで、社会への関心や問題意識を抱き、法的な視点で考察していきます。法学はまた、ニュースや新聞（時事）、あるいは文献から受信した学識を、どのようにして発信するかが問われる学問でもあります。

本ゼミの「社会学・教育学」とは、みなさんが法学から得た知識・情報を社会や教育などの事象に結びつけて探求すること、そして他者に社会的な視点で説明し、納得してもらえる発信ができるように探究することです。法学を学びながら「自分と社会との関係」や「社会における法学の結びつき」を絶えず考察すると共に、他者や社会に理解してもらうための発信作業について探究していきます。

社会と関わり合うみなさんが、本ゼミで得た知識や理解から視野を上げ、見識・学識を深めて将来の実生活に活かすことが到達目標です。

## 〈ゼミの内容、進め方〉

文章表現やコミュニケーションの探究も行いながら、様々な活動を通じた学習状況や報告を披露する環境を一緒につくり上げていきます。課外活動として、議会傍聴や他大学との交流（討論）、地域との協働、出張授業（法教育）、生涯学習の実践などを行います。

### 〈ゼミナールⅠ〉

社会で起こるニュースや時事に関して、法的な視点で議論します。法学や社会学についての見識を深めながら、議論の形式や意見のまとめ方などの発信の探究を行います。

### 〈ゼミナールⅡ〉

法学の学識や社会の課題・問題に関して、自ら問題意識に基づいて探求します。他大学交流や地域での実践を踏まえて、議論や討論、調査方法、論文作成法を学びます。

### 〈ゼミナールⅢ・Ⅳ〉

これまでの研究を踏まえ、卒業論文の作成を進めます。他にも、後輩ゼミ生や初年次学生（1年生）への指導や協働での研修・学修を行います。

## 〈ゼミの年間スケジュール〉

4月 歓迎会／6月 球技大会／8・9月 ゼミ合宿、議会傍聴、他大学交流（明治大学）、出張授業／10月 ゼミ説明会／12月 ゼミ大会、ゼミ選抜／2・3月 小・中・高校との協働・交流、他大学交流（予定）

## 〈成績評価〉

ゼミへの毎回の出席は原則とし、学修状況および報告、レポートなどを成果として評価します。4年次には、大学の学びの集大成として、自らテーマを定めた卒業論文の執筆を課します。

### 〈求めるゼミ生像〉

(自分の知っていることを) 教えることに興味がある学生  
読書が好きな学生  
アクティビティな学生

### 〈選抜方法〉

①申込書(学部所定の用紙)、②レポート、③面接試験による総合評価で可否を判断します。レポートは、申込書と併せて提出して下さい。面接試験の詳細は、掲示板にて連絡します。レポート課題及び執筆要領は以下の通りです。

課題：「社会問題や時事、社会情勢などの社会に関する事象のうち、関心を持った事象について、関連する文献や論文をもとに自分の見解や意見を論述しなさい」

字数：1600字以上

要領：表題として、設定したテーマもしくは論題を示すこと。その際（本文でも）、論点が明確になるよう留意すること。見出しあるいは小見出しをつけ（ゴシック体・太字）、構成を整えること。本文（明朝体）は、1ページあたりA4判用紙に40字×30行×1段に設定して作成すること。なお、引用文献の記述は、字数に含まない。表紙は、本学所定の用紙を使用すること。

### 〈募集人数〉

15名程度

### 〈教員からのお知らせ〉

本ゼミ志望の条件は、様々な活動に参加できること、さらにその中で多くの人と関わり学ぶことです。